



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第27号

発行:2008年7月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

新任看護部長としてめざすもの

— 患者・家族の満足を！！ —

横浜ほうゆう病院 看護部長 片瀬 克子



横浜ほうゆう病院が開院してから、8年目を迎えます。準備のために、マニュアルづくりをしていた頃を思い出します。

「初心忘るべからず」という言葉がありますがその頃にあったAさんについて紹介します。大声を出して走り回り、看護サイドはただ押さえ込み、鎮めることばかり考え個室に入っていました。ガラスを割らないだろうか、厚紙を貼り付け、右往左往の日々が続きました。

関わりとしてはできるだけゆったりと、Aさんの動きにあわせるようにし、薬物療法も功を奏し言動がおだやかになってきました。

2ヶ月が経った頃、ピアノの演奏会があり、その感想を聞いたところ「なんだかお祭りのようだった。人がいっぱい来た。いい音楽だった。」と。その言葉でスタッフ一同感動したことを昨日のことのように甦ります。認知症のAさんというのではなく「人」として理解し、見守り、寄り添って看護していくことが大切であるということ学びました。その教訓は、入院患者様を迎えるたびに思い出されます。

さて認知症の周辺症状（BPSD）についてですが妄想や幻覚などによる危険な行動についても、その人にとっては根拠があり、エビデンスがあるということはこの事例からも理解し、理論としてだけではなく経験知として納得し、現在に至っています。

今後は横浜ほうゆう病院として認知症看護の基本ラインを上げ全職種に浸透させる責務を感じて

おります。後に続く人材、指導者を育てることが部長の役割りの一つと思っています。

今年度も神奈川県看護学会・リハビリ看護学会発表、院内研修、ターミナルケア症例発表〔年2例〕また現任教育などを予定し研鑽を重ねていく計画です。

昨年から日本認知症ケア学会に1名参加し今年度は学会員4名になりました。その内の2名が認知症ケア専門士試験を受験します。合格すれば私を入れて横浜ほうゆう病院で専門士が3名になります。今後増えていく認知症の患者様の治療について、厚労省が提唱する拠点病院としてますます社会から期待される病院であってそれに応える力を持った看護を提供して行きたいとねがいます。

最近、看護見学者の3名、20代看護師がきました。目的は「自分達の職場は同じ認知症病棟で拘束が多い。横浜ほうゆう病院は拘束がほとんどないときている。どんな看護が教えてもらいたい。」ということでした。

「見学の結果、拘束されている方は皆無で患者様はそれぞれの残っている力を生じたケアがされている。」ことに気付いてくれました。

横浜ほうゆう病院の理念が医師から職員一人ひとり行きわたってチーム医療として脈々と歩んでいると感じたエピソードでした。

今日も病棟や外来に出向きスタッフ、患者様、ご家族様がいいお顔で過ごしていただけるか、この目で感じて触れてしっかりと確認し満足への支援をしていきたいです。

新中川病院 “総合相談室 設置”

—何でも老人医療のこと、相談に応じます—

新中川病院 総合相談室

係長 片瀬敦史

新中川病院 相談室は6月から総合相談室と名称を変え、新たな気持ちでスタートしました。「これからの病院は待っているだけではダメだ。もっと地域に出てニーズを把握し、地域の関係機関とも協力していかななくてはいけない。」院長から始めに言われたこの言葉が、当院における今後の地域連携の方向性を顕著に示しています。

社会保障制度が崩れていく中で、病気の方や介護が必要な方、その御家族は、費用のことや万が一のときのことなど、日々不安を感じていることが多いのではないのでしょうか。そうした不安を解決、あるいは軽減するためには地域の病院間、施設間の連携が大きな力になります。しかし現状は、そうした不安の声が外に届きにくく、連携が上手くいかないことが少なくありません。その原因の一つに、相談を受けるいろいろな窓口が受身の姿勢をとっていることがあげられると思います。「来れば相談にのる」「自分達に対応できないと、あとは家族まかせ」等々。

新中川病院 総合相談室は、こうした今までの相談業務の形から抜け出して積極的に外に出ることで、地域の皆様が必要としているサービスを把握し、実現に向けて努力していきます。また、スムーズなサービスにつなげることができるよう地域の関係機関とも協力を密にしていきたいと考えています。

まだ走り出したばかりで至らないことも多いかと思いますが、精一杯努力していきます。どうぞよろしくお願い致します。



湘南泉
病院

第7回 市民向け医療・福祉講座 開催しました

平成20年6月25日(水)14時より、湘南泉病院会議室にてテーマ「ウイルス性 肝炎の理解」を開催いたしました。町内会の方々、施設職員の方々、計58名の参加で大盛況でした。

講師 末盛副院長よりウイルス性肝炎についての内容で、一度感染すれば患者様や身近な人に感染させてしまう可能性もあるので、感染防止に気をつけていきたいと思いました。



末盛副院長 講義状況



片桐副看護部長 講義状況

看護部からはテーマ「特定健診」、講師は片桐副看護部長で、参加者の関心が高かったように感じました。

今後も少しでも、皆様のお役に立てるように取り組んでいきますので、ご支援お願い致します。